

①自己紹介

■氏 名： 四方 諒

■着任日： 令和5年3月1日

■所 属： 市内全域

■着任前までの経験と移住経緯

- ・大工としてマンション、戸建て店舗等の工事を施工
- ・空き家再生を通してまちづくりをしたいと思い、三原市に移住



①自己紹介2(着任前の活動をより詳しく)

- 大学卒業後、大工に弟子入り。
その後、基礎屋、不動産屋などさまざまな
職を経験したのち、独立。
- マンション、一戸建て、店舗などの解体から
仕上げまで、ほぼ全て一人で行う。
- さいたま市にて、まちづくりの実践授業、
リノベーションスクールを受講。
プレイヤーとしてまちづくりに参加する。



②これまでの活動(着任から現在まで)

- 本郷町上北方にて、空き家のワークショップ「イエカツ」を開講。
- 中央図書館において空き家相談会実施
- 他の地域おこし協力隊員活動場所の大工工事
(八幡町の真野隊員、佐木島の中園隊員
大和町のシャジム隊員)
- 名刺1000枚プロジェクト**
現在、約500枚突破。
- 500名の方と出会っていく中で本町の物件に出
会い、新たな目標を設定。
「地元の人に愛される、たこ焼き屋の開業」



②これまでの活動(着任から現在まで)2

- たこ焼き屋の開業準備と並行しつつ、
本町にて移住検討されている方や、
地域おこし協力隊を検討されている方のための**ゲストハウスを開業**。
- 広島修道大学や九州デザイナー学院にて、
まちづくりや空き家活用について講義。
→広島修道大学の学生と三原での新たな
挑戦の準備中。
→九州デザイナー学院の学生に、
私が実際始めるたこ焼き屋のロゴを作成し
てもらう。
- 移住検討者の現地対応
→空き家について興味のある移住検討者に対し、
本町の物件にて空き家の活用法などの
相談対応。



②これまでの活動(着任から現在まで)3

●他の協力隊の空き家を再生したり、自身で空き家を再生してきた経験から、空き家再生のノウハウを提供するため、三原さんと共同で「空き家再生実践塾」を開講。

全6回実施し、平均7名～8名の参加があり、**延べ人数30名前後の参加**があり、**中国新聞にも一面で掲載**される。

●同じ協力隊の坂江さんが神明市に合わせ、同場所でマルシェを開催。



③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと

■挑戦したいこと(任期中)

空き家を使った新規事業の創出

- ①たこ焼き屋の開業 済
- ②ゲストハウスの開業 済
- ③キッチンシェア事業の開業 未
- ④シェアサロンの開業 未
- ⑤レンタルスペースの開業 未



③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと2

■挑戦したいこと(任期中)

自分自身を三原のコンテンツ化する

①挑戦し続ける姿を発信する

②「あの人がいるから挑戦しやすそう」を作る

③移住したら楽しいを体現する



③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと

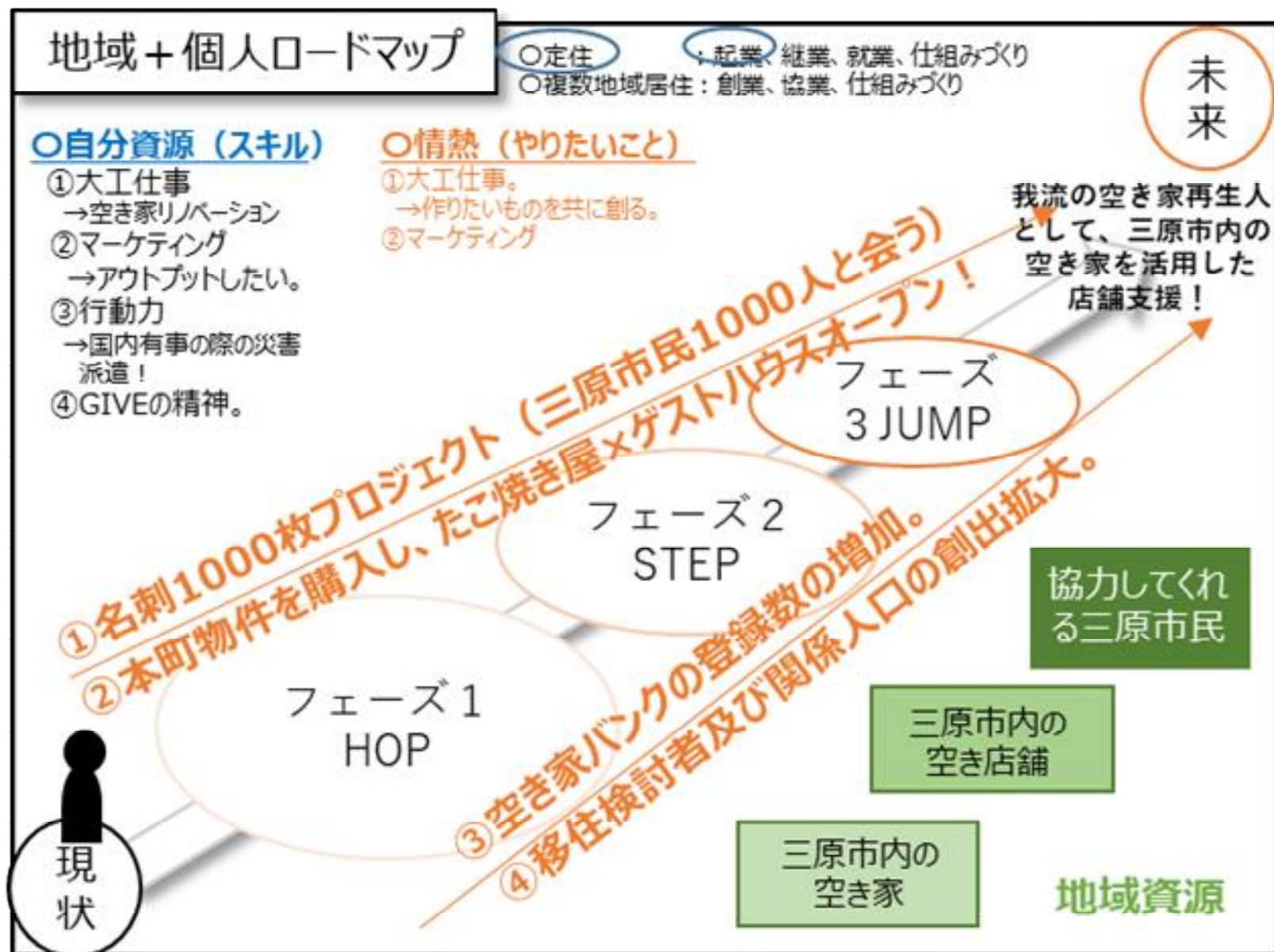
■挑戦したいこと(任期後のキャリアイメージ)

三原で事業を始めたい人のサポート事業

- ①開業時のDIYサポート等、内装工事の手伝い
- ②開業後のマーケティングサポート
- ③ローカルチャレンジャーの起業伴走



④任期後の自立に向けての活動内容(ロードマップ)



⑤ 2025年3月に向けてのチャレンジ宣言

「 空き家を使った事業創出準備
旅行業や観光業に関する事業創出」

2025年3月に向けてチャレンジ宣言

「 空き家を使った事業創出準備
旅行業や観光業に関する事業創出 」

→【半年間の活動振り返り : 70 %】

この半年間のアクションを振り返ります。

1)アクションプラン:空き家に関する事業計画の作成

→個別振り返り: 西国街道沿いの空き家でシェアサロンを始めるにあたり、事業計画を作成

2)アクションプラン:地域限定旅行業試験の合格

→個別振り返り: 無念の不合格。同じ日に受験した三原隊員が見事に合格し、とりあえず観光業の可能性を残せた

3)アクションプラン:観光ができるサイクリングツアーに関するなんらかのアクション

→個別振り返り: サイクリングの関係者を集めた有志のワークショップに参加

4)アクションプラン:銀行への融資の打診

→個別振り返り: シェアサロンの事業計画所を持ち込み、融資の打診に成功。追加で500万の融資を受けた。

⑥2024年10月～活動報告(成果と課題2)

■約半年間、創業や地域課題に関する講義を受け、
自分の方向の指針を決めた

①まちづくり三原主催「まちづくるー」

②広島県主催ひろしま「ひと・夢」未来塾



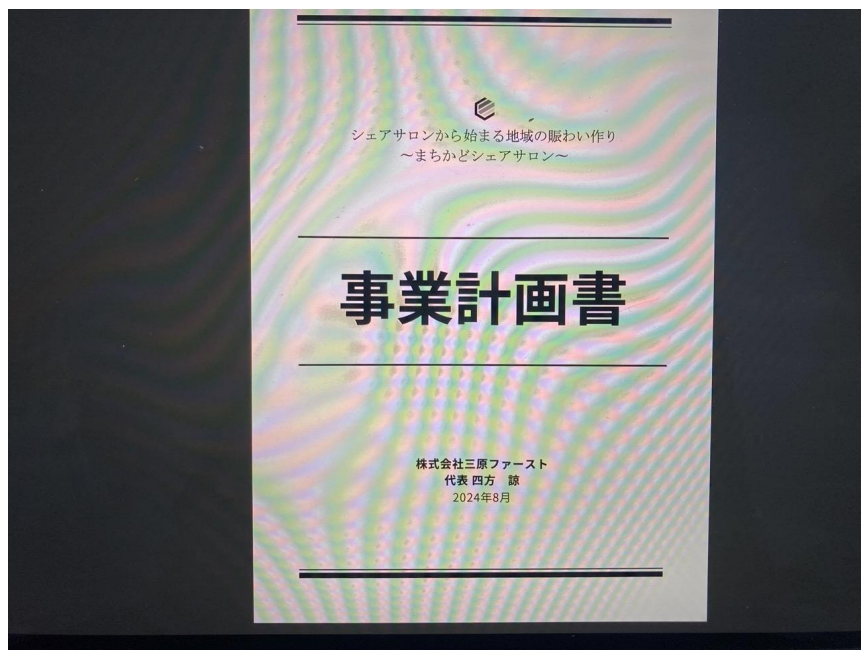
⑥2024年10月～活動報告(成果と課題3)

■三原さんと共同で、 空き家をみんなで再生するワークショップ 「空き家再生実践塾」を開講



■次の空き家再生に向けての種まき

現在三原さんに行っている空き家再生の場所の次の
空き家のオーナーに交渉。
承諾してもらい、銀行から融資も受ける。



⑦次回(2025年9月予定)個別報告会に向けて

次回活動報告会（2025年9月）に向けてチャレンジ宣言

「 三原さんと再生中の空き家及び
次の空き家を再生させて事業を創る 」

⑧次回(2025年9月予定)活動報告会に向けて

次回活動報告会（2025年9月）に向けてチャレンジ宣言

「 三原さんと再生中の空き家及び 次の空き家を再生させて事業を創る 」

その為に、この半年間で以下のアクションを実施します。

1)アクションプラン： 三原さんとの物件を完成させる

2)アクションプラン： 三原さんとの物件を稼働させ、コミュニティーを創る

3) アクションプラン： 次の空き家を完成させる

3)アクションプラン： ローカルチャレンジャーの創業支援